

## 気象カレッジ入学者募集の案内

(社)日本気象学会が後援し、(財)気象業務支援センターが運営する「気象カレッジ」が2005年度の入学者を以下の要領で募集します。

1. **総合コース**：気象技術を新たに学ぶ方を対象としたコースで、基礎から応用的技術までを2年間で系統的に習得することができます。募集人数20名。
2. **応用コース**：気象予報士資格取得者またはそれと同等の知識を有する方を対象とした1年間のコースで、実務を行う上で必要とされる各種の応用的技術を習得できます。募集人数10名。
3. **授業時間**：両コースともに週2日、年間220時間
4. **教室**：(財)気象業務支援センター4F  
東京都千代田区神田錦町3-17
5. **修了書**：気象技術の専門教育を受けた技術者として、修了書が発行されます。
6. **後援学会**：(社)日本気象学会、(社)土木学会、

日本海洋学会

7. **受験申込期間**：2005年1月24日～2月22日
8. **入学試験**：2005年3月5日
9. **入学式**：2005年4月5日予定
10. **入学募集案内の請求方法**：「気象カレッジ入学募集案内請求」と明記し、住所、氏名、電話番号を書いて、下記宛にFAXまたはハガキ、E-mail、あるいは電話で直接請求して下さい。  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17  
(財)気象業務支援センター「気象カレッジ」  
担当：下重、三木 Tel：03-5281-0440  
Fax：03-5281-0446  
E-mail：college@jmbsec.or.jp  
詳細は(財)気象業務支援センターホームページ  
(<http://www.jmbsec.or.jp/>)に掲載。



## 気象庁研究時報56巻3-4号合併号の内容案内

気象庁研究時報56巻3-4号合併号が平成16年12月24日に発行されましたので内容(表題：著者：ページ：要旨)についてお知らせいたします。

なお、気象庁研究時報は気象業務支援センター(Tel：03-5281-0440, Fax：03-5281-0443, URL：<http://www.jmbsec.or.jp>)から購入できます。

◇判別分析による山形県新庄盆地における放射霧予測：近澤 昌寿・和田 幸一郎：P71-81

放射霧の多い山形県新庄盆地を対象地域に、霧発生前日の相対湿度、当日早朝の気温や風速を説明変数として判別分析をおこない、17時予報での活用を目指した放射霧発生の判別予測を試みた。

分析の結果、放射霧の有無を精度よく判別できた。独立資料で適中率81%、スレットスコア0.75と使用可能な精度である。また、説明変数の有効性を検証したところ、夜間冷却量と当日早朝の風速が予測精度に寄与していたことが明らかになった。

◇2002年9月4日夜間に群馬県南部に短時間強雨をもたらした雷雨の発生過程の考察：横井 貴子：P83-95

(要旨省略)

(気象庁総務部企画課図書資料管理室)